

沈 丁 花

佐 藤 精 一

沈丁花の香りは印度の香爐の様な
夏のカーマインの空に翔け失せる雁の群の様な

沈丁花よ

それは右く冷い陶器の様な懷舊だ

沈丁花よ

眞紅のカーテンの余興の様な

沈丁花を女だとしたら

余りにも淫らな高貴な！

眞紅のカーテンの余興よ

アメシストを胃瀆するものよ

紅海から誕生したヴィナスの髪の毛よ

余りにも星が崇高だからとして

猶も秘戯を逞しうする。